

1. 日本人渡航者による観光ビザ免除の対象国拡大について

相手国との協議にもよるが、日本人の観光ビザ免除の対象国を広げていく取り組みを引き続き要請する。特にブータンについては昨年からの進捗状況を確認したい。

【回答】

ブータンについては引き続き観光査証が必要であり、現時点で査証免除についてはめどは立っていません。

いずれにせよ政府としては、今後、頂いた要望も踏まえ、国際的な人の往来を段階的に増やすべく適切に判断していきたいと考えております。

2. 観光先進国の実現に向けたパスポート取得環境の整備について

日本人の国際感覚の向上のため、パスポート取得促進の円滑化を図られたい。オンラインによるパスポート申請の制度が整備されつつあるが、さらなるオンライン申請対象の拡大や受け取り方法の拡充などさらなる効率化を図られたい。

【回答】

令和7年3月24日、顔写真ページにプラスチック基材を用い、偽造・変造対策を強化した「2025年旅券」の申請受け付けを開始し、同時に、全ての都道府県で旅券の新規・更新のオンライン申請が可能となりました。

また、同25日、観光庁において、観光庁、外務省、日本旅行業協会（JATA）との共同記者会見を実施し、萩川観光庁長官よりアウトバウンド促進に関する「もっと！海外へ」宣言の発出を発表するとともに、高橋JATA会長より、海外旅行商品や航空券のキャンペーン、パスポート取得費用支援を含む海外旅行促進キャンペーンについて説明した。併せて、岩本領事局長より、前述の旅券に関する取組のほか、「たびレジ」の認知・登録率の向上に向けた取組について紹介しました。

今回のオンライン申請の対象拡大により、全ての申請がオンライン可能となりました。これにより開始後1週間あまりの状況でもオンライン申請が大幅に増加しているところです。今後とも、旅券の申請者の利便性の向上に向けて取り組んでまいります。

また、政府としてアウトバウンド促進を進めていくに当たり、外務省としても、観光庁やJATA他関係者と連携していく所存です。来月には大阪・関西万博も開幕する本年、若者に海外旅行により国際感覚を養ってもらうこと、訪日旅行者（インバウンド）と日本からの海外旅行者（アウトバウンド）の双方向の人的交流を拡大させることにより、海外との相互理解を深めることがより重要だと考えています。